

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 膵疾患に対する外来 EUS-TA についての検討

研究の目的

EUS-TA は膵臓の病気の診断において一般的に行われている検査です。検査に伴う偶発症をきたす場合もあり、検査を外来で施行するか入院で施行するか、現状では施設毎に体制が異なっています。そのため、膵疾患に対する EUS-TA 症例(外来/入院)の比較を行い、外来検査と入院検査について、検査に関する項目を比較し、外来検査としての EUS-TA の有用性・安全性について検討します。

研究実施 実施許可日～2030 年 3 月 31 日

期間：

対象となる方： 2022 年 1 月から 2024 年 12 月までの期間で、当院附属病院消化器内科で膵疾患に対する EUS-TA を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

超音波内視鏡下組織採取(EUS-TA)は、超音波内視鏡を用い、消化管の外にある臓器の病変を観察しながら、専用の針を刺して組織採取を行い、顕微鏡を用いて病理診断を行う方法です。膵疾患の診断において一般的に行われている検査です。当院では EUS-TA を外来検査として行う場合が最近では多くなっていますが、以前には入院して行う場合の方が多くを占めていました。そのため、当院のカルテに記載されている情報のうち、年齢、性別、検査契機となった疾患、既往歴、抗凝固薬の有無、検査までの待機期間、検査成績、検査時に使用した鎮静薬・鎮痛薬の種類と量、検査時間、偶発症について、外来・入院で検査を行なった方で比較し、標記研究課題実施のために利用します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータの

みを削除する等の対応は出来かねますので，ご了承願います。

本件連絡先	附属病院消化器内科、血液内科、免疫内科 吉田健太 連絡先電話番号 0172-33-5111
-------	--